

労働力調査（基本集計）

2022年（令和4年）7～9月期平均

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6757万人と、前年同期に比べ16万人の増加
- ・ 完全失業者数は180万人と、前年同期に比べ13万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.6%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、東海及び近畿は増加、北海道及び四国は同数、東北、北関東・甲信、北陸、中国、九州及び沖縄は減少

- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、東海、近畿、中国、四国及び九州は減少、北陸及び沖縄は同数、東北及び北関東・甲信は増加

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.1%	(0.2ポイント低下)	近 畿	2.8%	(0.3ポイント低下)
東 北	3.1%	(0.6ポイント上昇)	中 国	2.1%	(0.2 〃)
南関東	2.6%	(0.5ポイント低下)	四 国	2.3%	(0.2 〃)
北関東・甲信	2.4%	(0.1ポイント上昇)	九 州	2.7%	(前年同期と同率)
北 陸	2.2%	(0.1 〃)	沖 縄	3.6%	(0.2ポイント低下)
東 海	2.1%	(0.2ポイント低下)			

図1 地域別完全失業率

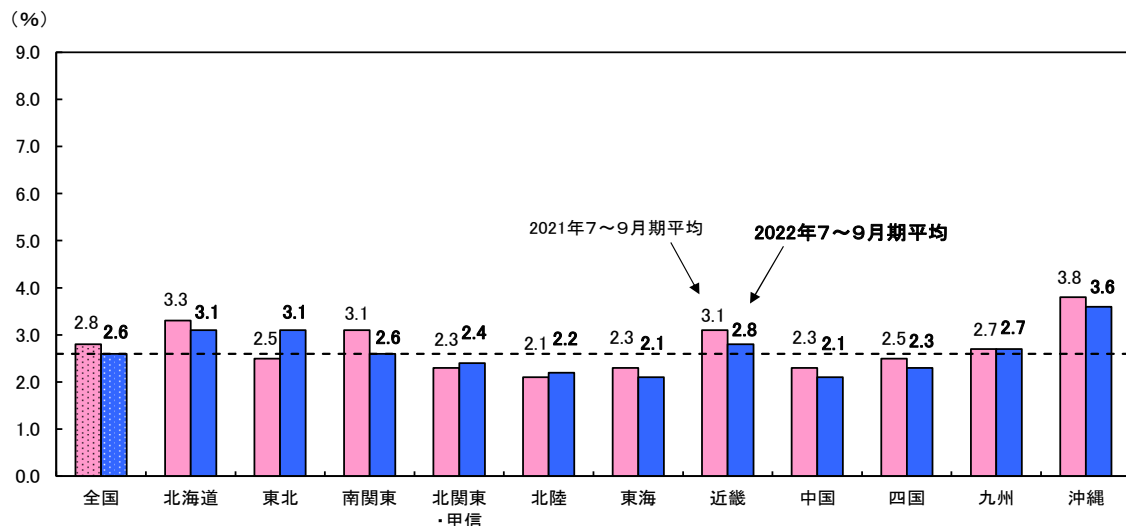


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

